

内外交差点

春の交通安全週間に寄せて 新たなスタートに、安全意識を忘れずに

佐藤 寛之氏 (はなまる取締役兼新規事業本部長) 第2/12回

春の交通安全週間とは

毎年春に実施される「春の交通安全週間」(全国交通安全運動)は、新生活が始まるこの時期に合わせて、全国的に交通事故防止への意識を高めるために行われる啓発活動です。毎年4月6日から15日までの10日間が実施期間とされ、警察や自治体、企業などが連携し、歩行者・運転者双方に安全運転・交通ルールの遵守を呼びかけています。

春に事故が増える理由とは



春は入学・入社・転勤などで多くの人が生活環境を変える季節であり、同時に

交通事故が増加する傾向にあります。

特に多いのが、新社会人による交通事故です。運転経験の浅さに加え、慣れない通勤ルートや時間帯、社会人としての緊張や焦りが重なり、注意が散漫になってしまうケースが見受けられます。こうした要因が複雑に絡み合い、春先には若年層の事故が目立つようになります。

ソコカラにおける事故傾向

弊社でも、過去の事故データを振り返ると、4月・5月に発生した事故のうち約半数が新入社員によるものです。もちろん本人の不注意だけではなく、受け入れる側の教育体制やサポート不足も原因の一つです。そのため、春の交通安全週間は社内でも改めて安全意識を高める契機としています。

安全運転を支えるはなまるの取り組み

「安全運転は日々の心がけから」との思いから、弊社では毎週月曜日の朝に、会社周辺のゴミ拾いを行っています。この活動は単なる美化運動ではな

く、「周囲に目を配る」「小さな変化に気づく」といった安全運転にも通じる意識づけを目的としています。地域貢献とともに、自身の運転姿勢を見つめ直す大切な時間となっています。



交通安全研修で意識づけを強化

また、弊社ではタクシー業界向けに交通安全研修を提供しています。この研修では、座学だけでなく実車を使った運転の傾向分析を行い、運転者自身が「なぜ事故が起きたのか」「どこに改善点があるのか」を自ら気づけるようなプログラムを組んでいます。新入社員やベテランドライバー問わず、今一度安全運転の基本に立ち返る機会としています。



新たな季節に向けて、交通安全の意識を

春は、新しい出会いとともに新たなスタートを切る季節です。そのスタートが事故で暗転してしまわないよう、一人ひとりが「自分が交通社会の一員である」という自覚を持ち、安全運転を心がけることが何より大切です。弊社では今後も、社員一人ひとりの安全意識の向上と、交通事故ゼロを目指した取り組みを継続してまいります。

中古タクシーの 買取・販売 は



ソコカラ
SOCOCARA



▲お問い合わせはこちら